



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

会社名 佐藤商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 村田 和夫
コード番号 8065 東証第 1 部
問合せ先 専務取締役 木村 久雄
TEL 03 - 3553 - 7005

特別利益計上および業績見通しに関するお知らせ

当社は、平成 20 年 3 月期決算におきまして、複数事業主制度の年金基金の会計方針を変更したことにより、年金過去勤務費用未払金を取崩し特別利益に計上する必要が生じたこと、並びに当期業績見通しについてお知らせします。

記

1. 会計方針変更による特別利益の計上について

変更の理由

従来は、複数事業主制度の年金基金について、過去勤務債務残高を年金過去勤務費用未払金として負債計上し、その後の特別掛金相当額を取崩す方法によっておりました。今般、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その 2）の公表（平成 19 年 5 月 15 日 企業会計基準委員会）に基づき、当期末より年金制度全体の直近の積立状況及び制度全体の掛金等に占める自社の割合等の注記が求められることになったこと、また、翌期の内部統制報告制度導入を睨み、見積りに関する社内手続の一層の厳格化が求められるようになったことにより、当社としては、退職給付引当金を負債計上する方法で慎重に検討を重ねてきました。しかしながら、複数事業主での基金であることから、当社の退職給付引当金が適時に算出出来ず、結果として決算作業の遅延となる可能性が大きいことが期末決算の過程で判明しました。

その結果、退職給付会計基準の複数事業主制度の会計処理（注解 12）の方法によることになりました。

会計方針の変更による影響額

この変更により、販売費及び一般管理費において特別掛金相当額 30 百万円を退職給付費用としたことにより、従来と比較して営業利益が 30 百万円減少しております。また、流動負債及び固定負債に計上しておりました年金過去勤務費用未払金 888 百万円を特別利益において年金過去勤務費用未払金取崩額として取崩したことにより、税引前当期純利益（税金等調整前当期純利益）が 858 百万円増加しております。

2. 連結業績及び個別業績の見通しについて

上記会計方針の変更による特別利益 888 百万円計上の他に、下記の要因等により当期の連結業績及び個別業績は、以下のような見込みであります。

(主な要因)

外部拠出の年金資産につき、運用利回りの低下に起因し生じた退職給付引当金の不足額を当期に一括償却したことにより、退職給付費用 549 百万円を販売費及び一般管理費に計上しております。これに加えて、急激な円高に伴って発生した為替差損 134 百万円を営業外費用に、時価が 30%以上下落した有価証券については減損処理を行った為、投資有価証券評価損 676 百万円を特別損失に計上しております。

平成 20 年 3 月期通期 連結業績の見通し（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績見込み(平成 20 年 3 月期)	168,500	3,350	3,500	1,950
前期実績(平成 19 年 3 月期)	152,205	4,035	4,285	2,630

平成 20 年 3 月期通期 個別業績の見通し（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績見込み(平成 20 年 3 月期)	159,000	2,750	2,850	1,550
前期実績(平成 19 年 3 月期)	142,304	3,469	3,750	2,332

(注)上記業績見込みは、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上